

## 第2期

# 運用報告書(全体版)

## 中国人民元ソブリンオープン (元高米ドル安戦略) (愛称 <sup>むげん</sup> 夢元ドル戦略)

【2019年8月13日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「中国人民元ソブリンオープン(元高米ドル安戦略)(愛称 <sup>むげん</sup> 夢元ドル戦略)」は、2019年8月13日に第2期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2018年10月12日から原則として無期限です。	
運用方針	中国人民元ソブリンマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、中国本土に流通する中国人民元建ての中国のソブリン債に投資を行うとともに、米ドルから中国人民元に投資を行うのと概ね同様の効果を得るため実質組入外貨建資産(人民幣建て資産)額と同額程度の米ドル売り/円買いの為替予約取引を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	中国人民元建ての中国のソブリン債を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月10日および8月10日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	騰落率	騰落率			
(設定日) 2018年10月12日	円 10,000	円 —	% —	ポイント 159.342	% —	% —	% —	百万円 32
1期 (2019年2月12日)	10,258	70	3.3	166.811	4.7	91.9	—	48
2期 (2019年8月13日)	9,682	90	△4.7	160.516	△3.8	93.6	—	57

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged USDから米ドル売り／円買いの為替ヘッジコストを勘案した指数です。当該日前営業日の現地終値を記載しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み合わせますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

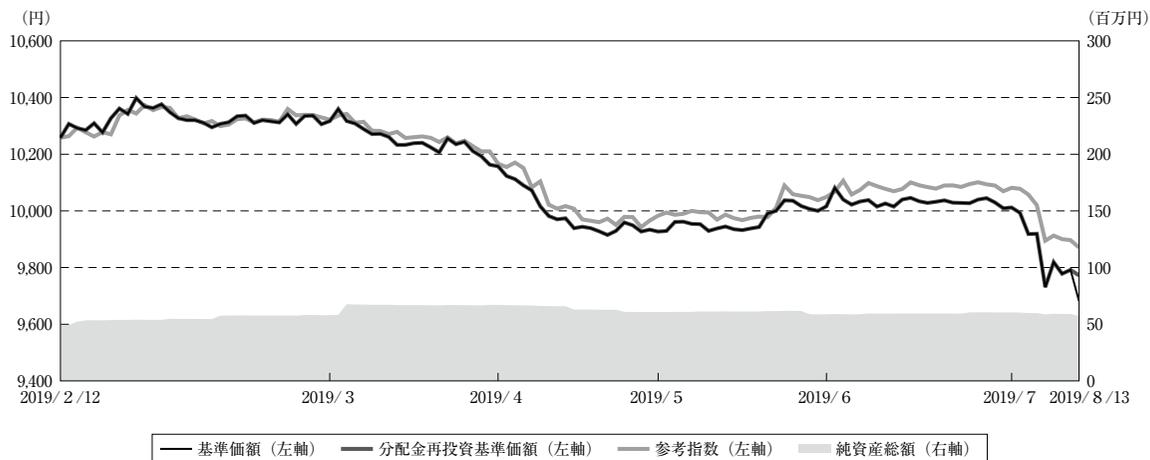
年月日	基準価額		参考指数		債券組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2019年2月12日	円 10,258	% —	ポイント 166.811	% —	% 91.9	% —
2月末	10,376	1.2	168.577	1.1	84.4	—
3月末	10,317	0.6	167.844	0.6	91.9	—
4月末	10,157	△1.0	165.322	△0.9	94.2	—
5月末	9,927	△3.2	162.336	△2.7	92.7	—
6月末	10,016	△2.4	163.416	△2.0	94.5	—
7月末	10,012	△2.4	163.939	△1.7	93.6	—
(期末) 2019年8月13日	9,772	△4.7	160.516	△3.8	93.6	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2019年2月13日～2019年8月13日）



期首：10,258円

期末：9,682円（既払分配金（税引前）：90円）

騰落率：△4.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged USDから米ドル売り／円買いの為替ヘッジコストを勘案した指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2019年2月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「中国人民元ソブリンマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

##### (主なプラス要因)

- ・債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。

##### (主なマイナス要因)

- ・人民元が対円で下落したことがマイナスとなりました。

※「中国人民元ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称 <sup>むげん</sup> 夢元ドル戦略）」では、実質組入外貨建資産額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行っています。当期間においては、米ドル売り／円買いの為替予約取引によるプラスがマザーファンドの為替要因のマイナス分を下回りました。

## 投資環境

（2019年2月13日～2019年8月13日）

中国の債券市場は、中国経済の改善を示す指標の発表を受けて、4月末にかけて、債券利回りが上昇しました。しかしその後は、米中貿易摩擦に対する懸念が再燃したことや、世界の多くの国々で金融緩和策が実施されたことなどを背景に、世界的に金利が低下した影響を受けて、債券利回りは低下基調を辿りました。

為替市場では、中国経済に対する悲観的な見方が後退したことから、4月中旬にかけて人民元が対米ドルで上昇する場面が見られました。しかし、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことに加え、中国当局が人民元安を容認したとの見方が広がると、人民元は対米ドルで大きく下落する展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2019年2月13日～2019年8月13日）

### <中国人民元ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称 <sup>むげん</sup> 夢元ドル戦略）>

「中国人民元ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。  
実質組入外貨建資産額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行いました。

#### ○中国人民元ソブリンマザーファンド

##### （債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

##### （債券別投資比率）

債券通（ボンドコネクト）を通じて、人民元建ての国債、国家開発銀行債に投資しました。当期間は国債の比率を7割程度、国家開発銀行債の比率を3割程度で維持するとともに、ポートフォリオ内では、中期債の比率を高めに行いました。

#### 債券通（ボンドコネクト）とは…

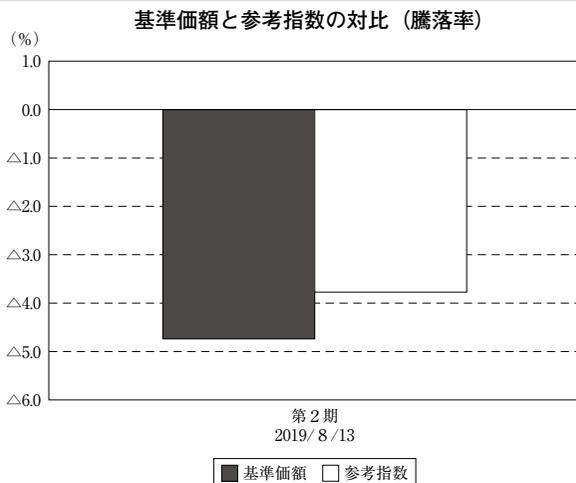
中国本土と香港間の債券相互取引制度で2017年7月にスタートしました。

海外機関投資家は、香港経由で、中国本土の銀行間債券市場での債券投資が可能となりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年2月13日～2019年8月13日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPMorgan GBI-EM China Unhedged USDから米ドル売り／円買いの為替ヘッジコストを勘案した指数の騰落率を0.9%下回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged USDから米ドル売り／円買いの為替ヘッジコストを勘案した指数です。

## 分配金

（2019年2月13日～2019年8月13日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、ファンドの収益力、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり90円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第2期
	2019年2月13日～ 2019年8月13日
当期分配金 （対基準価額比率）	90 0.921%
当期の収益	75
当期の収益以外	14
翌期繰越分配対象額	239

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境）

中国の債券市場につきましては、中国当局による景気下支え策が打ち出される可能性や物価上昇への懸念が残る一方、中国債券の主要指数採用に伴う海外からの資金流入や金融緩和観測に支えられ、利回りがレンジ内で推移すると予想されます。

為替市場については、米中貿易摩擦の動向を睨み、人民幣が対米ドルで不安定な動きになると予想されます。しかし、中国経済の下振れリスクが高まった際には、中国当局による景気刺激策の実施が見込まれるため、人民幣の対米ドルでの下落余地は限定的であると考えます。

### （運用方針）

#### <中国人民幣ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称 <sup>むげん</sup> 夢元ドル戦略）>

主要な投資対象である「中国人民幣ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

実質組入外貨建資産額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行う方針です。

#### ○中国人民幣ソブリンマザーファンド

運用につきましては、中期債の比率を高位で維持することに加え、国債と国家開発銀行債を現状程度の比率で維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年 2 月13日～2019年 8 月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	62 (30) (30) ( 2 )	0.614 (0.296) (0.296) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 1 ) ( そ の 他 2 )	5 ( 1 ) ( 1 ) ( 1 ) ( 2 )	0.046 (0.010) (0.006) (0.012) (0.018)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他 1 は、中国の債券取引に係る費用 その他 2 は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	67	0.660	
期中の平均基準価額は、10,134円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

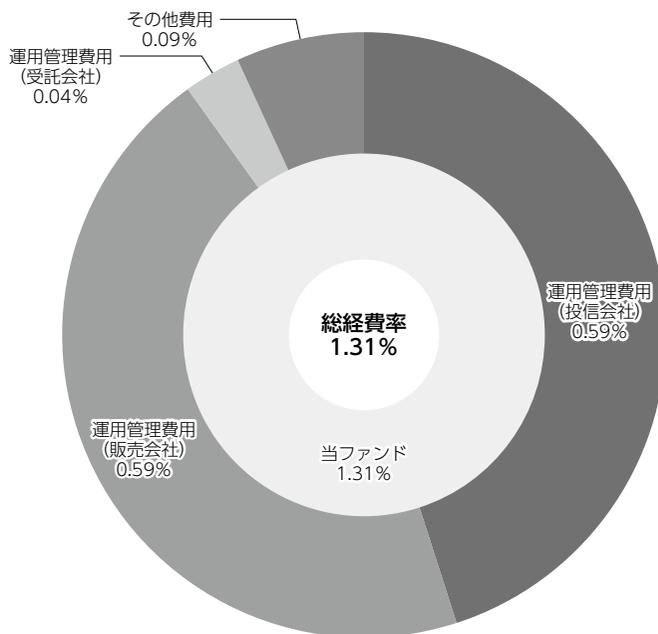
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.31%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2019年2月13日～2019年8月13日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
中国人民元ソブリンマザーファンド	千口 18,070	千円 19,300	千口 6,101	千円 6,250

（注）単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2019年2月13日～2019年8月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2019年2月13日～2019年8月13日）

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	—	—	10	当初設定時における取得

（注）単位未満は切捨て。

## ○組入資産の明細

（2019年8月13日現在）

### 親投資信託残高

銘 柄	期 首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
中国人民元ソブリンマザーファンド	千口 45,235	千口 57,204	千円 56,031

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2019年8月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
中国 人 民 元 ソ ブ リ ン マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 56,031	% 94.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,305	5.6
投 資 信 託 財 産 総 額	59,336	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）中国人民元ソブリンマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（58,702,940千円）の投資信託財産総額（59,833,109千円）に対する比率は98.1%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1オフショ元＝14.85円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年8月13日現在）

項目	当	期	末
	円		
(A) 資産	112,722,999		
コール・ローン等	2,506,703		
中国人民元ソブリンマザーファンド(評価額)	56,031,743		
未収入金	54,184,553		
(B) 負債	55,275,371		
未払金	53,386,410		
未払収益分配金	534,030		
未払解約金	978,432		
未払信託報酬	372,632		
未払利息	2		
その他未払費用	3,865		
(C) 純資産総額(A - B)	57,447,628		
元本	59,336,702		
次期繰越損益金	△ 1,889,074		
(D) 受益権総口数	59,336,702口		
1万口当たり基準価額(C/D)	9,682円		

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は1,889,074円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9682円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は47,700,783円、期中追加設定元本額は20,880,368円、期中一部解約元本額は9,244,449円です。

○損益の状況（2019年2月13日～2019年8月13日）

項目	当	期
	円	
(A) 配当等収益	△ 590	
受取利息	8	
支払利息	△ 598	
(B) 有価証券売買損益	△2,565,894	
売買益	2,402,546	
売買損	△4,968,440	
(C) 信託報酬等	△ 387,330	
(D) 当期損益金(A + B + C)	△2,953,814	
(E) 前期繰越損益金	991,946	
(F) 追加信託差損益金	606,824	
(配当等相当額)	( 473,350)	
(売買損益相当額)	( 133,474)	
(G) 計(D + E + F)	△1,355,044	
(H) 収益分配金	△ 534,030	
次期繰越損益金(G + H)	△1,889,074	
追加信託差損益金	606,824	
(配当等相当額)	( 513,572)	
(売買損益相当額)	( 93,252)	
分配準備積立金	907,689	
繰越損益金	△3,403,587	

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第2期
(a) 配当等収益(費用控除後)	449,773円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	513,572円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	991,946円
分配対象収益(a + b + c + d)	1,955,291円
分配対象収益(1万口当たり)	329円
分配金額	534,030円
分配金額(1万口当たり)	90円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	90円
支払開始日	2019年8月19日(月)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

## 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

## 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## 中国人民币ソブリンマザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

### 中国人民币ソブリンマザーファンド

#### 第 1 期 運用状況のご報告

決算日：2019年 8 月13日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主として中国本土に流通する中国人民币建ての中国のソブリン債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	中国人民币建ての中国のソブリン債を主要投資対象とします。
投 資 制 限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額 総
	期 騰 落 率	中 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
(設定日) 2018年 8 月23日	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
	10,000	—	211.211	—	—	—	19
1 期 (2019年 8 月13日)	9,795	△2.1	206.634	△2.2	96.0	—	59,633

(注) 基準価額は 1 万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは、当該日前営業日の現地終値を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

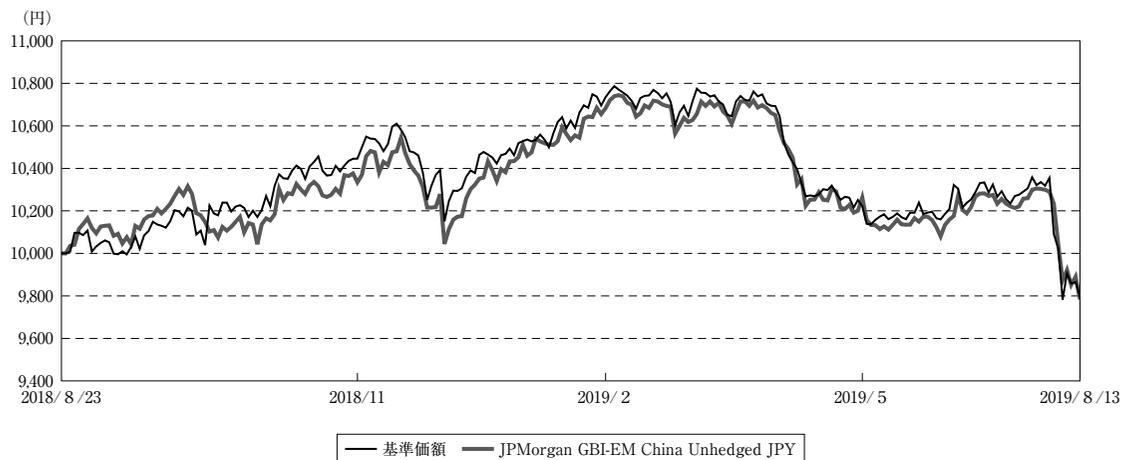
年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債券組入率 比	債券先物率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(設定日) 2018年8月23日	円 10,000	% —	ポイント 211.211	% —	% —	% —
8月末	10,009	0.1	213.736	1.2	80.9	—
9月末	10,151	1.5	216.126	2.3	81.0	—
10月末	10,270	2.7	214.690	1.6	93.1	—
11月末	10,446	4.5	218.279	3.3	96.3	—
12月末	10,392	3.9	217.105	2.8	95.9	—
2019年1月末	10,528	5.3	221.990	5.1	93.4	—
2月末	10,735	7.4	225.628	6.8	86.5	—
3月末	10,717	7.2	224.471	6.3	95.4	—
4月末	10,646	6.5	223.384	5.8	95.9	—
5月末	10,222	2.2	216.775	2.6	95.8	—
6月末	10,209	2.1	214.575	1.6	96.6	—
7月末	10,318	3.2	217.533	3.0	95.8	—
(期 末) 2019年8月13日	9,795	△2.1	206.634	△2.2	96.0	—

(注) 騰落率は設定日比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2018年8月23日～2019年8月13日)



(注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYです。

(注) 参考指数は、設定日（2018年8月23日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

##### (主なプラス要因)

- ・ 債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。

##### (主なマイナス要因)

- ・ 人民元が対円で下落したことがマイナスとなりました。

## 投資環境

(2018年8月23日～2019年8月13日)

中国の債券市場は、中国の景気減速を受けて、中国人民銀行が段階的に預金準備率を引き下げるなど、金融緩和スタンスを継続したことから、2019年3月末にかけて債券利回りが低下しました。その後、中国経済の改善を示す指標が発表されると、4月末にかけて、債券利回りが上昇する場面が見られました。しかし、米中貿易摩擦に対する懸念が再燃したことや、世界の多くの国々で金融緩和策が実施されたことなどを背景に、世界的に金利が低下した影響等から、債券利回りは再度低下基調を辿りました。

為替市場では、米中通商協議に対する楽観的な見方が台頭したことから、2018年12月にかけて人民元が対円で堅調に推移しました。しかし、世界的に景気減速懸念が強まり、株安が進行すると、2019年1月にかけて、人民元は対円で急落する展開となりました。その後は、過度に円高が進行した反動から、人民元は対円で戻り歩調となり、更には中国経済に対する悲観的な見方が後退すると、2019年4月中旬にかけて人民元は対円で上昇基調を辿りました。しかしその後、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことに加え、中国当局が人民元安を容認したとの見方が広がると、人民元は対円で大きく下落する展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2018年8月23日～2019年8月13日)

### (債券組入比率)

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

### (債券別投資比率)

債券通（ボンドコネクト）を通じて、人民元建ての国債、国家開発銀行債に投資しました。当期間は国債の比率を7割程度、国家開発銀行債の比率を3割程度とするともに、ポートフォリオ内では、中期債の比率を高めにしました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年8月23日～2019年8月13日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYの騰落率を0.1%上回りました。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

中国の債券市場につきましては、中国当局による景気下支え策が打ち出される可能性や物価上昇への懸念が残る一方、中国債券の主要指数採用に伴う海外からの資金流入や金融緩和観測に支えられ、利回りがレンジ内で推移すると予想されます。

為替市場については、米中貿易摩擦の動向を睨み、人民元が対円で不安定な動きになると予想されます。しかし、中国経済の下振れリスクが高まった際には、中国当局による景気刺激策の実施が見込まれるため、人民元の対円での下落余地は限定的であると考えます。

### (運用方針)

運用につきましては、中期債の比率を高位で維持することに加え、国債と国家開発銀行債を現状程度の比率で維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年8月23日～2019年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 5	% 0.047	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(そ の 他 1)	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他 2)	(3)	(0.026)	その他1は、中国の債券取引に係る費用
合 計	(0)	(0.000)	その他2は、金銭信託支払手数料等
期中の平均基準価額は、10,386円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年8月23日～2019年8月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
外 国	中国オフショア	千オフショア元	千オフショア元	
		国債証券	3,127,596	354,325
		特殊債券	1,285,715	222,716

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ボンドコネクトを通じた中国人民币建てソブリン債への投資に際し、取引通貨はオフショア元の為替レートが適用されます。（以下同じ。）

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月23日～2019年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月13日現在)

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
中国 オフ ショア	千オフショア元 3,811,000	千オフショア元 3,855,633	千円 57,256,158	% 96.0	% —	% 37.8	% 57.3	% 0.9
合 計	3,811,000	3,855,633	57,256,158	96.0	—	37.8	57.3	0.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				償 還 年 月 日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
中国 オフ ショア		%	千オフショア元	千オフショア元	千円	
国債証券	CHINA GOVT BOND 2.69	2.69	650,000	648,414	9,628,947	2022/3/7
	CHINA GOVT BOND 3.14	3.14	34,000	34,204	507,934	2020/7/12
	CHINA GOVT BOND 3.17	3.17	290,000	292,740	4,347,196	2021/10/11
	CHINA GOVT BOND 3.19	3.19	150,000	151,912	2,255,900	2024/4/11
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	740,000	750,189	11,140,318	2028/11/22
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	620,000	630,087	9,356,797	2023/10/18
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	70,000	71,517	1,062,036	2029/5/23
	CHINA GOVT BOND 3.3	3.3	71,000	72,181	1,071,894	2023/7/12
	CHINA GOVT BOND 3.54	3.54	70,000	72,487	1,076,433	2028/8/16
	CHINA GOVT BOND 3.6	3.6	66,000	68,123	1,011,639	2025/9/6
特殊債券 (除く金融債)	CHINA DEV BANK 3.48	3.48	250,000	248,705	3,693,269	2029/1/8
	CHINA DEV BANK 3.65	3.65	50,000	50,922	756,199	2029/5/21
	CHINA DEV BANK 3.68	3.68	500,000	506,510	7,521,673	2021/9/7
	CHINA DEV BANK 4.04	4.04	250,000	257,637	3,825,916	2028/7/6
合 計					57,256,158	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 57,256,158	% 95.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,576,951	4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	59,833,109	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (58,702,940千円) の投資信託財産総額 (59,833,109千円) に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1オフショア元=14.85円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	60,282,459,706
コール・ローン等	1,129,888,006
公社債(評価額)	57,256,158,366
未収入金	894,110,195
未収利息	629,388,213
前払費用	372,914,926
(B) 負債	649,357,455
未払金	449,349,962
未払解約金	200,000,000
未払利息	911
その他未払費用	6,582
(C) 純資産総額(A-B)	59,633,102,251
元本	60,880,927,507
次期繰越損益金	△ 1,247,825,256
(D) 受益権総口数	60,880,927,507口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,795円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は1,247,825,256円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9795円です。

(注) 当ファンドの当初設定元本額は19,900,000円、期中追加設定元本額は64,448,116,466円、期中一部解約元本額は3,587,088,959円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

中国人民元ソブリンオープン

60,804,364,933円

中国人民元ソブリンオープン (元高米ドル安戦略)

57,204,434円

中国人民元ソブリンファンド (適格機関投資家専用)

19,358,140円

○損益の状況 (2018年8月23日~2019年8月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	917,890,878
受取利息	918,599,337
支払利息	△ 708,459
(B) 有価証券売買損益	△6,020,386,079
売買益	379,931,935
売買損	△6,400,318,014
(C) その他費用等	△ 15,242,548
(D) 当期損益金(A+B+C)	△5,117,737,749
(E) 追加信託差損益金	3,920,173,534
(F) 解約差損益金	△ 50,261,041
(G) 計(D+E+F)	△1,247,825,256
次期繰越損益金(G)	△1,247,825,256

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。